

第8回 気高地域学校統合準備委員会

令和3年12月17日（金） 19:00～

気高町総合支所

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

(1) 第7回議事概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

(2) 広報紙の発行について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

4 議 事

(1) 学校の設置位置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

5 その他

6 閉 会

気高地域学校統合準備委員会委員名簿

	所 属	氏 名	備考
1	宝木地区まちづくり協議会会長	米田 克彦	
2	酒津地区まちづくり協議会会長	河根 裕二	
3	宝木小学校校長	田中 幸子	
4	宝木小学校 PTA 会長	上田 卓	
5	瑞穂地区まちづくり協議会会長	塩田 則夫	
6	瑞穂小学校校長	山根 啓嗣	
7	瑞穂小学校 PTA 代表	三谷 知生	
8	浜村地区まちづくり協議会会長	湯口 史章	
9	浜村小学校校長	長谷川 理恵	
10	浜村小学校教育振興会会長	横山 圭輔	
11	逢坂の教育を考える会会長	久野 壯	
12	逢坂小学校校長	岡本 千鶴	
13	逢坂小学校 PTA 会長	久野 慶太	
14	気高中学校校長	池原 巳途志	
15	気高中学校 PTA 会長	井上 康範	
16	浜村保育園園長	森村 郁子	
17	浜村保育園保護者会長	小林 奨	
18	ひかり保育園園長	伊藤 正子	
19	ひかり保育園保護者代表	江谷 清隆	

第7回 気高地域学校統合準備委員会概要について

1 日時 令和3年11月18日(木) 19時 ~ 20時43分

2 会場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】16名 【アドバイザー】1名
【気高町総合支所】職員2名
【教育委員会事務局(教育総務課校区審議室)】職員2名

4 報告事項

(1) 広報紙の発行について

○今回の統合準備委員会では、小学校4校のみの統合として話を進めることになったので、義務教育学校については将来的に視野に入れるという表現とする。

○4小学校交流事業の記事の中で、逢坂小の子どもたちが瑞穂小へ行き英語でコミュニケーションの方法について学んだとあるが、正しくは瑞穂小の子どもたちが逢坂小へ行き英語でコミュニケーションの方法について学んだという内容であったため記事を修正する。

5 議事

(1) 学校の設置位置について

○浜村駅の南側に整備するのであれば、多くの児童が踏切を渡って通学することが考えられる。安全に踏切を渡れるようにするためには道路幅も含め検討する必要がある、かなりの時間を要することが考えられる。通学の安全面や開校までの時間について考慮すると浜村小の位置が良い。

○学校の位置を決める上で、安全面を第一に考え他の候補地を新設校の候補地から外した経緯がある。そうであれば、新設校の位置は多くの児童が踏切を渡って通学することになる浜村駅南側ではなく、踏切を渡ることによる危険性の少ない浜村小周辺が適地。

○浜村駅周辺の南側と浜村小周辺の2案について通学路の安全性から考えると、浜村小周辺の地域がいい。やはり学校に通う子どもたちの安全面を第一に考えるべき。

○通学路の安全面について検討することも必要だが、まずは気高地域の子どもたちをどう思う大人にしたいのかという視点で検討していく必要がある。

○地域協議を始めるきっかけは学校の小規模化による児童数の減少を解消したいという思いからだっただのではないかと思う。そうであれば、焦点を絞って議論を行い、早く結論を出す必要がある。

○新設校の整備に必要な広さは、浜村小学校と町民グラウンドのスペースで十分に確保

できるのか。

⇒（事務局回答）新設校の整備方法等は、位置が決まり建物の老朽化に関する調査を行ったあと具体的に検討することになる。仮に浜村小の校舎を使うことになっても、現在の児童数であれば今のままの校舎に統合後の児童全員が入ることは難しいのでそれなりの整備は行うことになる。

○旧気高郡全体で一年間に生まれるこどもの数は大体 100 人程度。10 年、20 年先の子どもたちの人数を考えると気高町だけで義務教育学校をつくっていくということではなく、子どもたちの教育環境の充実のためにも 1 学年 2 学級以上の学校となるよう地域全体で検討すべき。そういったことも踏まえ検討すると、新規用地を取得し学校を設置したほうがいい

○次回までに浜村駅周辺に学校を設置したと仮定した場合に、どのような通学路となるのかイメージできる資料を作っていただきたい。

○他の施設との複合化の検討は、新規用地を取得し学校を設置した場合にだけ行えばいいのか。浜村小を活用する場合には検討する必要はないのか。

⇒（事務局回答）学校施設単独での新築は市の方針にないため、新規用地の場合は複合的な活用も視野に入れたことが問われてくる。周辺施設の活用や廃止も含め、まちづくりの観点からの検討を地元の了解も得ながら進めることになる。浜村小を活用するのであれば、新規用地を取得するわけではないのでそのような検討が必ず必要となるわけではない。

6 その他

《次回予定》日にち：12月17日（金）で開催

時 間：19時から 場 所：気高町総合支所 2階会議室

地域とともに学校を創る



～気高地域学校統合準備委員会だより～

第7回気高地域学校統合準備委員会を開催しました

第7回委員会の議論について

11月18日、委員16名とアドバイザーの参加のもと、第7回気高地域学校統合準備委員会が開催されました。

委員会の中では、新しい学校の設置位置について、すでに要望内容を決定した学校種も踏まえ、現在の浜村小周辺と浜村駅周辺の2案に絞って議論を行いました。

新しい学校の設置位置については、子どもたちの安全を第一に考え、通学時の安全面や災害が発生した場合などのことにも配慮しながら検討を進めています。今後も委員会では、新設学校の位置について、気高地域の子どもたちをどういう大人にしていきたいのかという視点を大切にしながら議論を重ね、その中で得られた結論を教育委員会に要望したいと思います。



議論の内容を紹介します

～第7回気高地域学校統合準備委員会の議論より～

◆学校の場所について

新設校の位置は、通学の安全面や開校までの時間について考慮すると、現在の浜村小の位置が良いと思います。



将来の子どもの数や教育環境の充実の視点を踏まえると、1学年2学級以上の学校となるように地域全体で検討するのがいいのではないのでしょうか。そうであれば、新しい場所に学校を作るほうがいいのではないのでしょうか。

◆議論の進め方について

地域協議のきっかけは小規模化の解消だったと思います。焦点を絞って議論を行って、早く結論を出すべきではないでしょうか。



気高地域振興会議でこれまでの経過を報告しました

気高地域の振興等について、市長の諮問に応じ議論を行う気高地域振興会議において、これまでの統合準備委員会の議論の経過と今後の検討スケジュール等について報告を行いました。

委員からは、新しい学校の設置位置について、「気高地域の住民がこの場所で良かったと言えるよう、



すべての校区から意

見を聞きながら進めて欲しい」という意見や、「バス通学の児童が多くなるので、スクールバスの検討も必要」との意見をいただきました。

今後も統合準備委員会の議論の内容を地域の方々々に説明していきたいと思いをします。



ともだちたくさん、楽しいね ～気高中学校区4小学校の交流について～

気高町内4つの小学校では、日ごろから様々な機会を捉えて交流をおこなっています。

11月26日には、4校の児童が浜村小学校に集まり修学旅行前の顔合わせを行いました。逢坂小の児童2名の進行で、自己紹介やゲームで親交を深めました。修学旅行では互いに助け合ったり協力し合ったりしながら、数多くの思い出を作ってきて欲しいと思っています。



また、12月15日には逢坂小学校の6年生の児童2名が宝木小学校へ出かけ、合同学習を行いました。この日は、10月の瑞穂小学校との交流に引き続いての英語交流でした。

この事業は地域の願いにより実現したものですので、今後も引き続き要望していきたいと思いをします。子どもたちが新しい環境に適応でき、安心して学校へ通えるようこれからも見守っていききたいと思いをします。



◀資料はこちらから
鳥取市公式ホームページ

(気高地域学校統合準備委員会について)

発行：気高地域学校統合準備委員会
事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室
TEL : (0857) 30 - 8405
E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp